

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）
A：十分達成できている
B：おおむね達成できている
C：やや不十分である
D：不十分である

学校名	佐賀市立北川副小学校									
1 前年度 評価結果の概要	・児童一人一人の長さを紹介し伝えあふ活動、担任と児童一人一人が話し合う「あのねタイム」、教員が授業や休みの時間にも子どもに関わる時間を確保されたことで、児童の学習意欲や本人との関係が良好になっている。 ・4部会を中心に組織的に取り組み、おおむね達成目標には到達したが、体力づくりが、毎年低いので取組を考える必要がある。 ・「学習環境のユニバーサルデザイン化」「授業のユニバーサルデザイン化」については、本来の理論や目的が薄れて取組が形骸化してきている。 ・次年度は、教員一人一人の授業力等を向上させる取組をさらに充実させることで、児童の自主的な学習態度を高めていきたい。									
2 学校教育目標	人を大切にする子、自立した子を育てる チーム北川副									
3 本年度の重点目標	◆人権・同和教育の充実 ◆思いやりや感謝の気持ちを表し、伝える力の育成 ◆あいさつの励行 ◆「主体的・対話的で深い学び」の実践・授業改善 ◆基礎学力の定着 ◆読書活動の充実 ◆児童がアイディアや工夫を発揮できる場の工夫 ◆目標や達成感を意識し、自己の成長を振り返る場の工夫									
4 重点取組内容・成果指標				中間評価		5 最終評価				主な担当者
(1)共通評価項目										
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○全職員による教科等指導力の向上に係る研修会の実施	○「授業を通して、『できた』『わかった』と感じる」と回答する児童85%以上		・		・		・		
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「友達に、ほかほか言葉をよく使っている」と回答する児童90%以上 ○「自分のよさがわかる」と回答する児童85%以上。		・		・		・	心豊か部	
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「友達と楽しく学校生活を送っている」と回答する児童95%以上		・		・		・	心豊か部	
	●児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童85%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童85%以上 ○「目標が達成できるように工夫して取り組んでいる」と回答した児童80%以上		・		・		・	心豊か部	
	○相手や場面に応じた挨拶ができるよう教育活動	○相手や場面に合わせたあいさつをしている児童90%		・		・		・	暮らし部	
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	●授業以外で運動やスポーツを行う時間と歩いて登下校する時間が1週間で420分以上の児童生徒70%以上		・		・		・	健やか部	
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1日当たりの年次休暇の取得日数14日以上		・		・		・	教頭	
●特別支援教育の充実	○学習しやすい環境づくり	○学校のUDや合理的配慮について意識して取り組むことができたと回答する教員90%以上 ○「学習に集中しやすい環境・学級である」と回答する児童・保護者90%以上		・		・		・	特別支援教育コーディネーター 学び部	
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目										主な担当者
重点取組			具体的取組	中間評価		最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言	
「○自ら進んで学ぶ児童」の推進	○児童自ら進んで学習活動に取り組む授業の実践	○「授業を通して、「自分から進んで学習ができた」と感じる」と回答する児童85%以上 ○校内研修を通して自身の長所や課題を自覚し、改善に生かすことができる教師90%以上		・		・			研究主任 学び部	
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・									

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志と誇りを高める教育